



もっと日本語をつけたいと
あいさつする曾さん



在学生代表として歓迎をする
丁奕杰(てい いけつ)さん



この機会を将来に生かして欲
しいと激励する学長(右)



軽食を囲んで会話が弾む



袴姿の曾さん(中央)

交換留学生歓迎会を開催

中華人民共和国の華中師範大学から
曾 徳穎秋さんが江戸川大学に交換留学

10月2日(水)に交換留學生として迎えた曾 徳穎秋(そう とくえいしゅう)さんを歓迎する歓迎会が学生食堂の一角で開催された。彼女は、中国湖南省武漢市の華中師範大学外国語学院日本語科の學生で、江戸川大学への交換留学の一期生だ。

会場には小口彦太学長や教職員をはじめ、現在江戸川大学に在学している留學生31人や国際交流に関心がある日本人學生18人が集まった。和装体験などのアトラクションもあり、盛り上りを見せた。(取材：戸祭将太 写真：三好有香)

2017年4月に江戸川大学と中華人民共和国の華中師範大学との間に學術交流に関する協定が締結された。教員及び研究者の交流、共同研究の実施促進と同時に、交換留學生の積極的な受け入れも目指している。

曾さんは9月始まりの中国にあわせて、2019年9月1日に社会学部経営社会学科の3年生として編入し、1年間、江戸川大学で日本語やビジネスの専門知識を学ぶ。同時に日本の文化にも理解を深めたいという。

曾さんは中国の中央に位置する重慶市の出身。同市は長江と嘉陵江合流地点に位置し、水運を利用した内陸貿易によって南部最大の工業都市となっている。

曾さんが日本に興味を持ったきっかけは、石原さとみ主演の『アンナチュール』などのドラマや『夏目友人帳』などのアニメといった日本の映像コンテンツ

「日本の文化に触れることができてとても楽しい」とコメントをしていたが、着慣れない袴は、ちょっと歩くにもコツがある。動きにくさに苦笑いする一幕も。だが、和装体験について在校留學生たちと楽しそうに談笑をしている様子からは、はやくも江戸川大学に馴染んでいることが伝わってきた。